

多頭飼育問題を考える研究研修会 開催要領

(～多頭飼育問題ケースのチーム連携事例から支援・連携の在り方を考える～)

1 趣 旨

近年、核家族化や単身世帯の増加といった世帯構成の変化に伴い、ペット（家庭動物）を家族の一員として飼育する家庭が増加している一方、ペットの飼育に絡んだ様々な問題も起きています。中でも飼い主、動物、周辺環境に大きな影響を与える不適切な多頭飼育に起因する問題（いわゆる多頭飼育問題）は地域の中でも深刻さを増しています。

問題の背景にある飼い主の経済的困窮や社会的孤立が複雑に絡み合っていて、「人」と「動物」を別々の課題として対応することは難しく、多頭飼育対策ガイドライン（環境省）でも、対応には社会福祉や動物愛護、公衆衛生等、多分野の関係者が連携して取り組むことを求めています。

本研修会は、福祉分野、動物愛護分野の地域を中心とする関係者等が集まり、多頭飼育問題を構造的なところから考え、支援・連携の在り方や具体的な手法を学び、県内における人と動物のくらしを守る一助とするために開催します。

2 主 催 長野県社会福祉協議会

3 共 催 長野県

4 日 時 令和5年2月22日（水：猫の日） 9：50～16：15 （9：30 開場）

5 開催場所 会場：長野県動物愛護センター レクチャールーム（小諸市大字菱平字前新田 2725）
配信：オンライン（Zoom 利用）

6 対 象 市町村職員、保健所職員、獣医師、社会福祉協議会職員、動物愛護ボランティア、
動物愛護推進員、民生委員、その他関係者等
(定員：会場 50 名、オンライン 100 名)

7 内 容 ※途中休憩をはさみます。

9：50	開会・あいさつ
10：00	【多頭飼育問題の現状を知り、飼い主の背景について考える】 ◆話題提供とグループワーク チーム TAG(*)の紹介及び活動メンバーから話題提供 (* 多頭飼育課題を様々な視点で検討し支援につなげるプラットフォームの名称、任意のチーム。) 登壇者：上田保健所、NPO 法人一匹でも犬・ねこを救う会 しんけん動物病院、東御市社会福祉協議会（まいさぼ東御） ○グループワーク「それぞれの現状を共有してみよう！」
12：00	休憩（60分）※レクチャールームで飲食できます。各自で昼食をご用意ください。
13：00	【連携と役割分担について必要なものとは】 ◆事例発表&グループワーク ○多頭飼育対策ガイドライン策定までの経緯 ○飼い主当事者は何を感じたか「当事者インタビュー」 ○チーム連携で対応した事例について 登壇者：東御市、県動物愛護センター ○グループワーク ※全体でケース共有したうえで事例の検討を行います。

	1. 「連携するために必要なこと」 2. 「何が不足していて、そのためにどんな仕組みや協力体制が必要か」
15 : 00	◆少人数で自由に対話しよう（ワールドカフェ方式） 「興味・関心事や、今さら聞けないこと等、気軽にどんどん出し合おう！」 いくつかのテーマを全体で共有（テーブルごとに違うテーマで意見交換をします。）
16 : 00	◆振り返りタイム ※振り返りシート記入
16 : 15	閉会

8 参加申込み 下記URLからお申し込みください。



<https://tinyurl.com/2j4p4cg6>

2月15日（水） までにお申し込みください。

※オンライン参加の方は午前・午後の部分参加ができます。

※オンライン参加の方は途中グループワークがあるため個別に参加できるオンライン環境が必要となります。

※オンライン参加の方には、申込アドレスに当日視聴する Zoom のURL及び資料データを開催前日の2月21日（火）に送ります。（会場参加の方は会場にて配布いたします。）

※昼食は各自でご用意ください。会場となるハローアニマルはレクチャールームで飲食可能です。

※当日、やむを得ず内容やタイムテーブル、その他記載事項に変更が生じる場合があります。

9 お問い合わせ 長野県社会福祉協議会 総務企画部 企画グループ

TEL : 026-228-4244 FAX : 026-228-0130 E-mail:kikaku@nsyakyu.or.jp